



はつらつ健診・長寿健診のお知らせ



	はつらつ健診	長寿健診
期間	6月20日(月)～10月15日(土)	
対象	・40～74歳で国民健康保険に加入している人 ・40～74歳の生活保護世帯の人	・満75歳以上の人 ・65～74歳で後期高齢者医療制度に加入している人
料金	700円	500円
※生活保護世帯の人は無料		
内容	診察、血液検査、血圧測定、尿検査など	
受診方法	受診券・保険証・料金を持って指定医療機関で受診してください。 ※6月中旬に対象の人へ受診券を送付します。	
その他	全国健康保険協会(協会けんぽ)など国民健康保険以外に加入している人は、健診内容や受診方法など、加入している医療保険者へお問い合わせください。	



医療機関で受診するがん検診のお知らせ



	胃がん検診	大腸がん(個別)検診
期間	6月20日(月)～10月31日(月)	6月20日(月)～10月31日(月) ※容器の受け取りは10月15日(土)まで
対象	令和5年4月1日時点で 50歳～68歳の偶数年齢の人	令和5年4月1日時点で 40歳以上の人
料金	1,300円	500円
内容	胃カメラ(胃内視鏡)	便潜血検査
受診方法	市へ申し込みをした人に受診券を送付します。 受診券が届いたら、市内実施機関に受診予約をしてください。	

フレイル
予防コラム③

長寿健診はフレイル予防の第一歩

長寿健診では、病気の重症化予防だけでなく、フレイルのチェックができます。フレイルは早めに気付いて対策をとることで改善することができます。まずは、自分の身体や心がどのような状態なのか、フレイルになる可能性があるのかを知ることが大切です。 ※フレイルとは心身の活力が低下し要介護の手前の状態

予防が必要なときは医師などからお声掛けします

長寿健診の結果や問診票の回答でフレイル予防が必要と判断された人には、いつまでも自立した生活が送れるよう、予防のための取り組みについて医師や高齢者総合相談センターからお声掛けをすることがあります。一緒に取り組みましょう。



問い合わせ 長寿介護課 ☎24・8168

健診には普段の受診で検査していない項目が多く含まれる場合があります。治療のために定期的に医療機関を受診している人も、かかりつけの医師と相談して、年に1回は健診を受けましょう。



治療中の人でもぜひ健診を

通常8千円～9千円の検査内容を国保はつらつ・長寿健診の場合、500～700円で受けることができます(そのほかの医療保険に加入している人は、加入している医療保険者にご確認ください)。
また、血糖値・コレステロール値・血圧・肝臓や腎臓の機能など、一度に多くの検査項目を調べることができます。



健診はお得な健康管理

コロナ禍において、健診の受診控えが続いています。健診を受けないと、がんや健康上のリスクの早期発見の機会を逃してしまふ可能性があります。まずは年に1回の健診を受けて、自分の身体を知りましょう。

問い合わせ

いきいき健康課(すこやかセンター内)

☎24・8056

今こそ受けよう 身体と向き合う健康診査



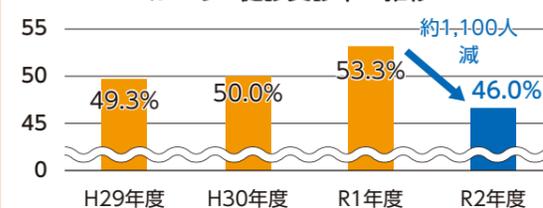
健診は病気を早期発見できる良い機会です。早く発見し、しっかりと治療を受けるかどうかで、その後の経過にも差が出ます。コロナ禍で体重が増加したという人も多いと思いますが、体重の増加による病気はすぐに発病するとは限りません。去年の健診で異常がなくても、今年は分かりません。毎年の健診で自分の身体に向き合い、気持ちを新たに健康維持に取り組みしましょう。



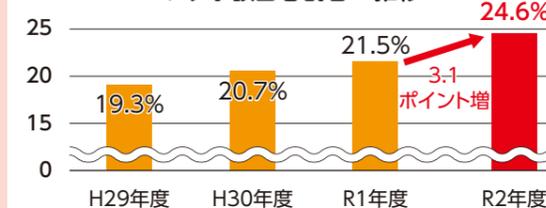
小松市医師会理事
湯浅 豊司 さん

DATA

はつらつ健診受診率の推移



メタボ該当者割合の推移



(はつらつ健診受診者の結果より)

新型コロナウイルス感染症が流行し始めた令和2年度のはつらつ健診の受診率は、令和元年度に比べて7.3ポイント(約1,100人)と大幅に減少しました。一方、メタボ(※)該当者割合は、例年に比べて大きく増加しました。
※メタボリックシンドロームの略。内臓脂肪に高血圧・高血糖・脂肪代謝異常が組み合わさることにより、心臓病や脳卒中になりやすい病態のこと。